

**GIARI 第 5 回 国際シンポジウム「アジア地域統合への展望」アンケート集計結果  
(2011 年 12 月)**

参加総数： 313 名 (アンケート集計数 56)

**今回のシンポジウムについてどう思ったか？**

とてもよかった	28 人
よかった	24 人
あまりよくなかった	1 人
よくなかった	0 人

**年代**

10 代	1 人
20 代	22 人
30 代	5 人
40 代	4 人
50 代	7 人
60 代	9 人
70 代	7 人
80 代以上	0 人

**専攻**

国際関係 (7 人)
経済学 (3 人)
政治学
国際法
法学
平和構築
東アジア・米国関係

**専攻**

教職員 (2 人)
修士 (20 人)
学部生 (4 人)
博士 (2 人)
研究生

**所属**

**【学内】**

- ・ GSAPS (14 人)
- ・ 政治経済学部
- ・ 社会学研究科
- ・ 国際教養学部
- ・ 政治学研究科

**【他大学等】**

- ・ 東京大学(2 人) 文化 I 類(1 人)
- ・ 上智大学
- ・ 富山大学
- ・ 東海大学文学部北欧学科
- ・ 滋賀大学経済学研究科

**【一般】**

- ・ 朝日新聞
- ・ 北東アジア研究ネットワーク
- ・ 伊藤忠商事
- ・ フリーアニメ・プロデューサー兼中国企業役員日本代表
- ・ NPO
- ・ 日本電気(株)モーター基礎研究所
- ・ JICA
- ・ IHI
- ・ 地方公務員
- ・ モデリスト
- ・ RML
- ・ 高校生

**GIARI 第 5 回 国際シンポジウム「アジア地域統合への展望」アンケート集計結果  
(2011 年 12 月)**

シンポジウムを知った方法 (複数回答)					
ウェブ	<b>28</b>	メール	<b>9</b>	授業で	<b>14</b>
早稲田大学	10	GIARI	1	松岡先生	3
GIARI/GSAPS	9	アジア政経学会	1	植木先生	2
Wasedanet-portal	4	天児先生	1	赤羽先生	2
Asahi.com	4	アジア研究機構	1	平川先生	2
詳細なし	1	ゼミのメーリングリスト	1	天児先生	1
ポスター	<b>14</b>	詳細なし	4	浦田先生	1
パンフレット	<b>6</b>	マスコミ	<b>6</b>	李 鎔哲先生	1
知人	<b>6</b>	朝日新聞	6	Bacon, Ball 先生	1
		その他	<b>2</b>	先生名なし	1
		社内告知(JICA)	1		
		ゼミの先生から	1		

国籍	人数
日本	37
中国	4
韓国	3
ウズベキスタン	2
インドネシア	1
米国	1
香港	1
ドイツ	1
コロンビア	1

## 感想等

### 【よかったという意見】

#### ● アジア地域統合などについて

- これまでは、アジア地域の統合は歴史、文化、政治によって、ほぼ不可能だと思っていましたが、今回の報告を聞いて考え直しました。東アジア金融統合の現状と認識も大変勉強になりました。
- 自分があまり考えたことがない分野のお話も聞け、アジア地域統合についての課題、展望を多角的に考えるよい機会になりました。
- シンポジウムを楽しむことができました。自分の博士論文と関連したことに関する興味深いコメントを聞くことができました。とても有益で自分の研究活動が向上するような大変なインスピレーションをえられました。シンポジウムを通して、アジアとアセアンの地域統合の課題にとりかかりたいと思うようになりました。重要で意義深いシンポジウムに感謝します。キャンパスアジアが成功裏に設立されるよう願っています。
- アジア地域統合研究の現時点での到達点が確認できた。
- アジア地域の統合について身近なところからのご指導をこれからますます頂きたいとよろしく願い申し上げます。
- 変化するアジアの現状を分かりやすく討議していただきありがとうございました。
- アジアの歴史と向き合いながらアジア地域統合を考える話は非常に興味を感じた。ありがとうございました。アカデミックな、しかし、実態を踏まえての話は大変参考になりました。

#### ● 議論・出された観点などについて

- 複数の観点から議論しており、飽きないものであった。
- TPP 含む、経済のテーマまで幅広く聴くことができよかったです。
- 大変参考、勉強になりました。特に、歴史的な立場から、アジア統合を見る視座が私には役立ちました。キャンパスアジアにも期待します。ありがとうございます。
- 梅森先生の「脱亜」の共同体という指摘が興味深かった。これまで東アジアは「日本以外文明というものに感染していなかった」が、1993 年の世界銀行のレポートによれば、これにより急速な経済成長という「プロセス」の共有が可能になり、「アジア地域統合」が成立可能になりえるとの話を聞いておもしろい観点だと思った。もう一度この論考について読み直してみたい。
- 第一セッション「アジア地域統合と制度形成」の各報告者、討論者、各先生方のお話の中身がすばらしく、大変充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。特に「歴史観」の話については、日ごろ縁遠くなる傾向があるので、梅森先生と平野先生に感謝申し上げます。

**GIARI 第 5 回 国際シンポジウム「アジア地域統合への展望」アンケート集計結果  
(2011 年 12 月)**

- 歴史の中のアジア地域統合。脱亜の思想、日本以外のアジアの国々も日本と同じ考えがある、これに共感しました。
- とても興味深いお話ありがとうございました。さらに勉強していき、知識の幅を広げたいと思います。
- **登壇者の先生方に対して**
- 学際的な視点から、一流の研究者が集結し、興味深い内容となった。
- 著名な先生方の意見をうかがえる良い機会となった。
- 国内外の第一人者を集め、素晴らしいプロジェクトを達成されましたことをお祝い申し上げます。今後も第一線の研究を発信して下さい。
- 深川先生のご発言が鋭くて、書かれているものを拝見したいと思いました。
- **ねぎらいのことば**
- 天児先生をはじめ親切なスタッフのみなさん、長い間の開かれたシンポジウム等の企画に感謝申し上げます。キャンパスアジアに期待します。
- お疲れさまでした。
- アジア研究機構主催の講座やシンポジウムに数多く出席させていただき、心からお礼申し上げます。どの講座、シンポジウムも非常にレベルが高く、啓発される点が多く、勉学無欲を刺激されております。加えて、参考文献まで頂戴し恐縮です。この場を借りて心からお礼申し上げます。

**【提案・意見など】**

- **シンポジウムの構成・議論などに関して**
- 第二セッション、最後の問題提起が簡素でよかったです。が、議論がもう少し深められる、というか面白い視点が出ると良かったと思いました。地域統合と経済協力の役割について別の機会に議論ができればと思います。ありがとうございます。
- 問題点として、①人材育成の話が相対的に少なく、最後にわずかに触れられたのみだった。シンポジウム、タイトルと異なるのでは。②海外の研究者が実質 0 だったのは残念だった。少なくとも中・韓の代表的研究者のプレゼンは必要だったのでは。結果的に、やや内輪の議論にとどまっていた印象は否めない。
- 安全保障と経済問題はどちらか一本にしぼって別々に論じた方が、議論が中途半端にならず深まったと思う。
- 第一セッションで討論者の質問に対してすぐ答える形ですすめてほしかった。折角の内容が深まらないように感じました。
- 全体的にまとまりがなかった。(もしくは私には伝わらなかった。) 結果、パネラーの方の明晰な思考が議論に反映されていなかったのが残念。
- 議論の方向性はいいと思うが、各テーマについて具体例が乏しい。私は 20 年間の中国での駐在を含め、アジアでのビジネスを行ってきた。産業界との交流を大学側ももっと進めていただきたい。

**GIARI 第 5 回 国際シンポジウム「アジア地域統合への展望」アンケート集計結果  
(2011 年 12 月)**

- 過去の仕事を通じて、大変興味のあるテーマで、いろいろな視点の意見を拝聴させていただきました。ただし、今後に期待したいことを書きます。①研究テーマの絞り込み、方向性を見つける研究から、実社会(経済を含む)実体をベースにするために、実業を知る人たちも参加しての具体的方策を示してほしい。②方法論として、経済、政治(歴史的にも)に研究が集中していますが、民族主義、ナショナリズム、異文化は壁ではなく、精神的な統合(政治、経済の統合以前に)の為に共通点の見つけていく研究が必要と思う。(アジア文化圏、漢字文化圏として多くの共通項と共通の感性をもっていることを経験的に感じています。)
- **テーマに対する主張など**
- アジア地域統合に於いて、日中 FTA の経済効果について、広義貿易自由化の重要性に関心を持っています。たとえば、投資規制、検疫制度、食品安全問題などへの様々な分野における国内規制、制度のハーモナイゼーションです。もし、それに関する内容を今度の国際シンポジウムに含んで頂きましたら、幸いです。農業部門は一つの国にとって大変重要な産業部門で、センシティブな部門です。特に日本の農業は弱いので、今まで保護されています。貿易自由化を推進すると農業関係者の反発が起こる可能性がかなり高いです。農産品質問題及び農業問題に対して深く検討して頂くと幸いです。
- アジアに対して、インパクトが大きい。学者はもっと質疑をぶつけるべきだ。アメリカには感謝するが遠慮すべきではない。各国共通事項を掘り出すべき。中国と日本には漢字使用国で最終妥協は可能だ。環境技術立国で推し進めることは多くある。水路、植林、緑化、農耕、医療。第二セッションは意義深かった。
- 「統合」ということばには強制的なニュアンスがあり好ましくない、「アジア経済圏の深化」とうことばもあるのではないか。
- ①統合は自然の流れであるが、国益という言葉が残る(全てが win-win の関係になりえない)限り、歴史の中で流動化する現象に過ぎないかもしれない。今日の議論は考えるヒントを多々与えてくれた。②上に関連し、政治的な体制・利害調整等がどう働くかによって、スムーズに進むのかの難問は残る。③文化の障害を許容することは可能か④人材育成が必須であろう。アジア太平洋研究科に期待大。